

公益社団法人空気調和・衛生工学会

監事監査規程

平成 23 年 7 月 14 日 理事会制定

第 1 章 総則

(目 的)

第 1 条 本規程は、公益社団法人空気調和・衛生工学会（以下、「当法人」という）における監事の監査に関する基本的な事項を定めたものであり、監事の監査は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条から第 106 条の規定、その他の法令及び定款に定めるもののほか、本規程による。

(基本理念)

第 2 条 監事は、当法人の機関として、理事と相互信頼のもとに、公平不偏の立場で監査を行うことにより、当法人の健全な経営と社会的信頼の向上に努め、その社会的責任の執行に寄与するものとする。

(権 限)

第 3 条 監事は、理事の職務の執行を監査する。

(業務・財産調査権)

第 4 条 監事は、いつでも、理事及び関係部門に対し事業の報告を求め、又は当法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(理事等の協力)

第 5 条 監事が、前条の職務を執行する場合は、理事又は関係部署の責任者はこれに協力するものとする。

第 2 章 監査の実施

(監査事項)

第 6 条 監事は、監査事項について、調査・閲覧・立会・報告の聴取等により監査を行うものとする。

(会議への出席)

第 7 条 監事は、理事会及びその他の重要な会議に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければならない。

2 監事は、前項の会議に出席できなかった場合には、その審議事項について報告を受け、又は議事録、資料等の閲覧を求めるものとする。

第 3 章 監事の報告義務等

(理事会に対する報告義務)

第 8 条 監事は、理事の職務の執行又はその他の者の業務上の行為が法令・定款に違反し、もしくは違反する恐れがあるとき、又は著しく不当であると認めるときは、理事会に報告しなければならない。

2 監事は、前項に規定する場合において、必要があると認めるときは、理事に対し理事会の招集を請求し、又は自ら理事会を招集することができる。

3 監事は、業務の執行に当たり当法人の適正な運営・合理化等、又は当法人の諸制度について意見を持つに至ったときには、理事に対し、意見を述べなければならない。

(差止請求)

第 9 条 監事は、理事が当法人の目的外の行為その他法令・定款に違反する行為をし、これにより当法人に著しい損害を生ずる恐れがある場合には、理事に対し、その行為の差止めを請求する。

(理事等の報告義務に対する措置)

第 10 条 監事は、理事から当法人に著しい損害が発生する恐れがある旨の報告を受けた場合には、必要に応じて調査を行い、助言又は勧告等の適切な措置を講ずるものとする。

(会計方針に関する意見)

第 11 条 監事は、理事が会計方針及び計算書類等の記載方法を変更する場合には、予め変更の理由について報告するよう求める。

2 監事は、会計方針及び計算書類等の記載方法について問題があれば、理事に意見を述べるものとする。

(社員総会への報告)

第 12 条 監事は、社員総会に提出される議案及び書類について違法又は著しく不当な事項の有無を調査し、必要な場合には社員総会に報告する。

(社員総会における説明義務)

第 13 条 監事は、社員総会において社員が質問した事項については、議長の議事運営に従い説明する。

(監事の任免・報酬に関する社員総会における意見陳述)

第 14 条 監事は、その選任・解任及び報酬について、社員総会において意見を述べることができる。

第 4 章 監査の報告

(計算書類等の監査)

第 15 条 監事は、理事から業務報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書を受領し、これらの書類について監査事項を監査する。

(監査報告書)

第 16 条 監事は、日常の監査を踏まえ、前条の監査を経て、法令の規定に従い、監査報告書を作成する。監事間に異なる意見がある場合には、それぞれの意見を記載する。

2 前項の監査報告書には、作成年月日を付し、記名押印又は電磁的署名をするものとする。

3 監事は、前項の監査報告書を、理事会に提出する。

第 5 章 雑 則

(監査補助者)

第 17 条 監事の職務執行の補助として経理担当職員が当たる。

2 前項の補助機関に関する事項については、監事と理事との協議によって定める。

(改 廃)

第 18 条 本規程の改廃は、監事全員の合意により行い、理事会に報告する。

附則

1 本規程は、平成 23 年 7 月 14 日の特例民法法人（社団法人）空気調和・衛生工学会の理事会において制定するが、公益社団法人空気調和・衛生工学会の設立登記を以って同日より施行する。